

バストス週報

第八十号
昭和二十二年
三月十七日
発行

DIRECTOR
KOITI MORI
REDATOR
SHION ODA

RUA PRES.
VARGAS 188
C.P. F. 112
FOL. 40
BASTOS
C. P.

ANUAL
N.C.R. #
5.00

№880 BASTOS, Irm. MARCO de 1967, O PROGRESSISTA REG. Nº 2695 SAO PAULO, A.P.

旋風 11

弓場バレエ團に

教えられるもの

正直なところバレエというものをよく知らず、又本格的な欧米のバレエを見たことがないので、こんどバストスで公演された弓場バレエが、どの位の水準にあるものか、実は見当のつかぬ有様である。本田正雄氏が開演挨拶の中に「弓場バレエは、聖市公演では大好評をとっているが元来、弓場農場という奥地の一角で土に芽生え、土に育ち、土から生れたバレエ團である。このバレエ團を欧米一流のバレエ団に比して高い水準にあると申しませんが、土から生れた芸術であるという特殊性を認めていただきたい」という言葉があり、このバレエの育ての親たる弓場氏も「その澁刺たる若さに於てバストスのお嬢さん方と勝負したい。勝負といつても勝ち負けを争うのではなく、見ていただく、見てやろうと両者の間に何ものか血の通うものがあれば、これにまさる喜びはない。真に観客の胸に訴えるものがあれば拍手を送っていただきたい。空虚なものであつたら野次つて下さい」と云つてゐる。開幕第一景から矢継ぎ早に放たれる十五景、二時間余にわたる熱演は、バレエをはじめ見る者は勿論、すべての観客層を圧倒してやまなかつたようである。これまで三人四人のバレエは見ることはあつたが、舞台せましと乱舞するこのバレエ團には、立体的なりズムというものが無い深さ、奥行というものが感じられ、ことに創作から生れる芸術的表現がしつとりと織りなす感銘をえつたであつてくるように、非常な快感を覚えたのである。

照明もうまいし、舞台装置も簡潔だけれし、十連の姿体も細々と強靱で、多少の妖麗さをも発散させてつし、美しい線を描いて俗臭を封じ、相服美と舞踏美とを、くつきり色別けるあたり、さすがに修練をつんでゐるようだ。もし、舞台がもつとひろく、パンドによる演養がゆるされるなら、おそらく欧米一流のバレエ団に伍して遜色のない公演が出来たであらう。

HOTEL USSAMI FONE 22.

御泊りと御食事は
清潔で明るいうさみで
バストス名物鯉料理
江戸前ずし 関西ずし
御宴会に
御仕出し



和洋御料理
バストスロードビオリオ前
うさみ
電話 二十二

SAPATARIA BASTOS

FONE 55

高級品の靴、靴、シタは
紳士の身だしなみ
学生靴
婦人靴
紳士靴



早川靴店
電話 五十五

このバレエが、このように育つまでには、小原秋子氏夫妻の五年に亘る真剣な指導が大きな役割を演じていることは言待たないが、弓場勇氏の超人的な意欲が燃えなかつたら物にならなかつたであらう。

弓場農場といえは一種の共存同業的な理屈抜きに同志だけで経営する三十年前は野球の弓場で鳴らした事も

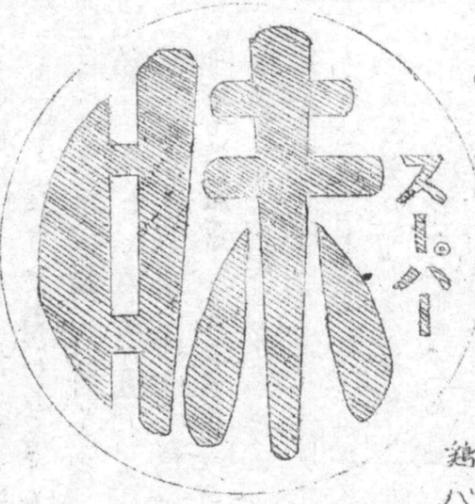
Tempero de Alta Qualidade 99.9%
 Glutamato Monosodico 99.9%
SUPERAGI

聖市 ルアガルボンゴエーノ街二二番七階
遠藤貿易株式会社

スーパー味

- 材料(4人分)
 鶏ひき肉、にら各 150g
 ハカリヤウ(1切70g) 3切
 人参、大根 各 120g
 長ねぎ 2本
 白菜 3枚
 しょうが汁 1かけ分
 卵 1個
 こんぶ 幅2cm長5cm 8枚
 かんぴよ 800ml
 出し汁 カツプ 6強

料理講座
 鶏肉だんごのモチモチなべ
 下ごしらえ 鶏ひき肉は、しょうが汁を
 入れてすりませ、卵、カタクリ粉大サジ一、しよお
 ちう小さじ二分の一、塩少々を混ぜ、八個に丸めて
 ゆでる。たらは一口切り。にんじん二センチは花形
 に切りにして、残りは幅一五センチ、長さ三センチの
 たんごく切りにしてゆで、大根も同様にしてサツとゆ
 で、これを水にもどしたこんぶで巻き、かんぴようで
 結ぶ。
 にはゆでて長さ五センチに切り、白菜はごく切にす
 ます。



白ごま大さじ三杯は、つて荒切にしたメンドイン五のグラムと共にすり、出汁大
 さじに三、しよ大さじに二、みりも各大さじに二、塩小さじに四分の一、スパー
 味少量を加えてのべし、ゆずの絞り汁少々加える。
 煮方・食べ方 なべに材料を入れて残りの出し汁、みりん、酒各大さじ
 一と二分の一、しよ大さじに二、塩小さじに一を入れ
 中火で煮ながらタレをつけて食べる。



スーパー味はこの店にもあります

フィクション

警察犬の殊勲

ブラジルでも警察犬が活躍したという
 話。

去る三月一日夕方五時頃、バンデラン
 テ種鶏場から余り遠くない地点(アルト
 ビトリア?)で強盗殺人事件があった。
 犯人はアントニオという、おあつらえ
 向きの半黒、多分懐中淋しさの余り、道
 路からやや引込んだ一農家に眼をつけた
 のであらう。
 表口から窺うと盲目で唾の主婦がただ
 ひとり。
 「金を出せ」と凄んだけれど反応がない。
 その時娘のマリマ(十九)がゴジンニマ
 から出て来て不敵な青年の面魂に脅え、
 思わず大声に悲鳴を上げた。
 強盗やにわに凶器を出して居直り、「声
 を立てると殺すぞ」とおどしたが、娘の
 マリアさんが狂気の如く叫びつづけるの
 で強盗は、ママよとばかり鋭いアツカ
 げうんと一と突き、娘のマリアは絶叫と
 共に混倒してしまった。

強盗は眼ぼしき物、時計とか、その他
 金目のものをサツコにつめこんで逃走し
 た。
 この強盗殺人事件は忽ち付近の評判と
 なり、犯人は近くにひそんでいるという
 推量。早くもこれを知ったパウルー警察
 の活躍となり、警察犬シエバートを引連
 れ現場にのぞんだところ、犯人のものと
 覚しき、うすべらな毛布が遺留されてあ
 る。
 こいつを犬の嗅覚にメモさせて、翌日
 アラサツバ方面へ逃げこむ(?)オニブス
 しらみつぶしにポイントで調べたところ、
 三日夕方同市着のオニブスから一半黒犬
 が警察犬ににくいさがられ、所持を調べら
 れて、いや応なしに件の強盗殺人犯と判
 明した。
 近頃痛快な警察の大手柄と大評判であ
 る。この話は実話ではあるが、場所や、
 被害者、加害者、日時などに多少の差異
 があるのだから、必ずしも事件報告書とは云
 いきれない。しかし殺された娘の幕儀のあ
 り得べき事件としてお互いが真剣に考えざる
 を得ない問題ではないか。という暗示がある。
 もしあなたの家が狙われている」と仮定し

て要心し、応急策を研究して、おいても損のない間違ではなからうか

御 禮

去る二月十九日ドラセーナ川柳吟社主催の第三回汎パウリス夕川柳競吟大会はお蔭を以ちまして空前の盛況裡に終了致しました。
 今大会には、左の方々から立派な賞盃を寄贈して頂き紙上を借りて厚く厚く御礼申し上げます

- 一 信太兄弟商会盃
- 一 グランジマ水馬盃
- 一 石橋農具研究所盃

第三回汎パウリス夕川柳競吟大会

ドラセーナ吟社創立祝賀 一九七〇年二月十九日

課題「花」

耐えぬいて岩の割れ目に咲いた花
 邪念まだ切れぬ心の花ばさみ
 朝顔に今日の心を清められ
 実のうせて花の使命の地に還える
 無駄花の多い丁使がまだ続き
 下心あれば子をほめ花をほめ
 花苗を領けて静かな幸を知る
 散落の花一輪の詩を綴る
 貧しくも心ろの庭に花を植え
 花一輪今日の幸添えて活け
 雑草は雑草なりを花咲かせ
 日まわりを廻わす太陽の温かみ
 花愛するゆとりも出来て移民老ゆ
 この心通へと墓前に花を活け
 一輪を咲かして余生平和なり
 生れつづを奪わせる草の花
 花の都も所詮は人の吹溜り
 実のるため胡蝶も踊る花の性
 大輪に咲けばにわかには世間の眼
 蝶よ花育て上げれば嬌異人
 インフレで咲いてデフレで散る話
 薊のある花とは知らず抱いた梅
 片想い花束だけが知っていい
 針をもつ花にも蜜やる花のよさ
 やぶに咲く花にも夢を秋めたる色
 新人賞 (最高得点)
 ドラセーナ 水野 まる女
 栄光花選
 望郷の夢にタンポポいつも咲き 今田北海坊
 黄い花抱えからの長詩 和田 夢岳
 生花に個性か生きて香を放つ 清村卓史
 魔門 送
 年一ツ 拾って阿呆の輪も一ツ 伊藤カワ坊
 節くれた指に自信の響を待つ 依藤若村
 インフレで咲いてデフレで散る話 前田珠子

御 禮

長男清華長らくの療養中皆様よりの心強い御言葉の数々に御見舞迄頂き又、経済力も弱い私共に心よく御援助下さいまして、安心して闘病生活を終えさして頂き、三月から又働かして頂く事が出来ました事は心から感謝申し上げます。
 甚だ言葉が足りず、失礼とは存じますが、其の意を御酌量下さいませよう、御社の言葉を述べさして頂き
 有難うございました。

父 安達忠之助

バストス諸兄の皆様

DEBULHA-SE MILHO



脱粒機
 脱粒は最も迅速で信用ある
 トヨシマに御用命下さい

大体の俵数など御知らせ下されば好都合です
 南銀、船辺さんの住宅向側
 清家 まで御申込み下さい
 電話 一四四番
 フアルツラ区 豊島重幸

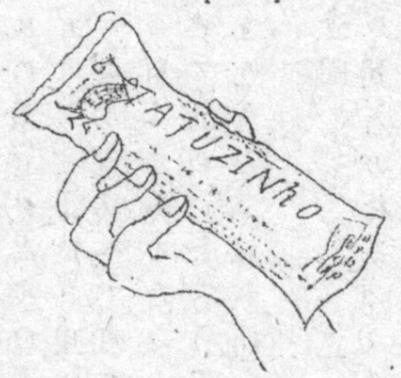
御 礼

金三十コントス也
 絵画教室に会館を使用されました際の際の謝礼として頂きました
 生長の家バストス読友相愛会
 日語普及会御中

COM TATUZINHO... ATÉ EU!
a própria formiga leva a morte ao seu ninho.

僕の実験

「道に迷った仔牛をさがしに行く時、又はレンニアをとる時、小鳥打に出かける時、僕は必ず袋入りのTATUZINHOをホルソに入れて出かけるが、それは僕の仕事見たようなものだし、サウバの巣を見つけると穴の付近にTATUZINHOを少しばらまく、サウバはそれをくわえて巣へ運びこむ。いたづら小僧のような、すばしこい、仕事好きなサウバは片端からTATUZINHOをかっついて巣に運ぶ。他のクスリのように一切マキナは不要だ。」



「サウバ自身で巣の真までもって行ってくれる。TATUZINHOはそこで強力なガスを発生して、サウバの巣も全滅する。……という仕掛だ。」

「サウバ自身で自分の巣を破壊するためかっぎこむふしぎな「TATUZINHO」」

ブレレンコ
代理人 鶴 勝

絵画教室白書

梅津生

白井久雄画伯による、日語普及会主催の絵画教室一週間は好評のうちを終りました。その報告を申し上げます。朝二十八名、昼二十名、夜三十余名の日語生徒と、一般の絵の愛好者が集り、新式教授のもとに絵画を教えて頂きました。

第一日目、朝昼夜と共に想像画でした。自分の頭にあるものを何でもよいから描くという法で、出来上がった作品は一般に、川や木のある風景画が多かったようにです。

先生のマジユーダがあると、ぐっと上手になるという人も沢山居りました。第二日目、丸や三角、四角などを使つて模様(デザイン)を描きました。いろいろ色を使つて、いろいろ左模様が出来る配色の面白さが味わえました。第三日目、野菜や果物の静物写生、これは今までに何度かやったことがあるので、割合にみなさんが上手に描けたようすです。三浦先生の時よりずつと上達して

才四日目、人物画、向っている人を描く事、かきなれないせいとか大変むずかしいようでした。

才五日目、外に出て風景画をやりました。朝は涼しくよかったです。夕陽が暖かかったので、多勢の人の野外写生は、陽射が暖かかったので、多勢の人の野外写生は、珍らしい風景ではなかったでしょう。最後の六日目は、乗物や動物を思い出して、描く事、子供は子供なりに、結構面白く描いておりました。

白井先生の助言があったりすると、ぐんぐん上手になりました。

なごやかに楽しく絵の勉強する事ができ、大変有意義であったと思います。来年も開催して欲しいという意見も多々ありましたので、是非実行して欲しいと思います。

二十六日、二十七日の二日間の展覧会を開催するに当り、阿部五郎氏作の豪華なついたたをば使用していただき、多数の観覧者があり、喜びに耐えない次第です。

会場には参加者全部の作品が展示されたわけですから、上手なのもあり、下手

なのもありましたが作品全体として、昨年の入植祭の時よりはずっと進歩して、いたようでした。講師の評は、バストスの人はあまりにいい持を画面一ぱいに表わすように、このたびの作品の中から佳作四十点を送って日本の児童の絵画と交換話もありました。今後の絵画教育の進歩に期待をかける、ペンをおくものです。 完

神戸外語女子大生来植

(梅津 稿)

二月二十八日(土)トツパン日本語教師生方先生の案内で、日本神戸外語大、スペイン語科の女子大生が、私の所を訪問されました。目的は中南米教育調査、という事、パラグワイやアルゼンチンなどを回って、ブラジルへという事でした。ブラジルははじめ予定にはなかつたようですが、帰る間際になつて、二週間程の予定に組み入れたとか、そして小さな町バストスにも寄られ、ブラジルの日系人の教育調査をされました。ブラジルの教育状況や日系人の教育熱やバストスの日語校の現状を話したり、情報教育の爲の教材入手困難を話し、協力させて欲しいと言つて、ブラ拓の工場見学をなさる為私の所を去られました。南米調査団(大学生のみ六人のうち紅一点)が南米到着の後女一人旅をなされたとか、ブラジルへ来られてもサンパウロからトツパンまで一人旅、事情のわからぬ外国で、女一人旅とは驚かざるを得ません。パラグワイの田舎でも一人旅をなされたとか、夜になるると、さすがに淋しいとおっしゃつておられました。このような調査団が次々に来られるらしいが、日伯親善の爲によりゆきがなされるんことを希つて居ります。 終り

御禮

金一封也

故憲一様の御葬儀に際し、当会に右の金員を御贈呈にあずかりました。謹んで御礼申し上げます。

栢野益子様

バストス草分會

CASA MAEYAMA

新米

の時期となりました。

順調な雨でおいしい新米が出廻つて居ります。流通税適応で最底値で御願ひして居ります。

シメント

シメント御入用の御家庭には是非当店で、大量購入される方には最底値にて差上げます。

アンタルチカ・セルベージマ代理店 雑貨食料品並に飲料水各種

前山商店

Panificadora "Bomdia"

Comunicação aos destintas fregueses que a partir do dia 27-2-1967 hvera pão pente a partir dos 13 horas rua Adhemr de Barros 232 Fone 174 BASTOS

おとくいの皆様、二月二十七日午後一時より、焼きたてのあたたかいパンを配給致して居ります。どうぞ倍旧のお引立を願ひあげます。

パニフィカドーラ・ボンデーア ルーア アデマール デ バーロス 232 電話 一七四

弓場バレエ團のアラ探し

勝 甫

文協が慈善興行の爲に招聘した弓場バレエ團、これは公演せぬ先きから本田氏などは非常に提灯を持った宣伝ぶりであったが、誉めるばかりが能くもあるまい。又、理に合った悪評を気にするようなら芸術から手を引くより外はなからう。今晚は少しでも悪い所を見つけて遠慮なく週報紙上でコキ下ろすべくテグスネ引いて出かけたのが夕方六時半、行て見るに、舞の余地もない超満員、マアこの不景氣に二コントも出して早うから詮めかけろと、共済会に協力する心がけの多し、の多いこと。

どこかに空席がないかと見渡したら、カブリ付右の隅に空いた席があったので坐ったが、何と幕が開いて見ると舞台の前三分の一も見えない。舞台奥で何を踊っていたも見えないがこれは愚老の遅かった罰で文句の言ようはないが、拍手が起きるとつい奥が見たくて隣席の青年の前まで頭を突き出すが、秀げた所を指で突き戻される。エッ可愛くない奴め……。

さて高売のアラ探しと眉に唾をつけ目を皿のようにして見るが、踊りは申分ない。が衣装がお粗末だ。しかし踊に調和した色彩と仕立てであり、聞くところによるとサックを利用したとの事。どこやらの劇団もサック製の衣装だと云ったが、あれは絹物のサック、これは鶏の餌袋製らしいが、腹が立つ程良く出来ている。照明に天井と背景にスポットが各一灯、これがシルエット効果満点と来ている。

音楽は童謡などコーラス三部合唱と洒落て居り、他も古典曲から創作ものと、卑俗な流行歌などではなく、簡潔ながら舞台意匠も感じが出ていて、癖だが文句のつけ様がない。衣装の着付もあの衣装ならあれ以上の注文は無理である。化粧が少し荒いように思ったが、これも正面から見ると美しかった。だから愚老の負けらしい。

終り

御案内

来る三月二十六日

午後一時から

春季彼岸會 勤修

同日 午後七時から

総永代経 勤修

以上の通りお勤めが御ざいますから位牌を供託してない方もお誘い合せて御詣り下さい御案内します

バストス南米本願寺

皆々様

セメンテ

セボラリオリオグランデIIペーラ種入荷 発芽確実……長型

柿の苗木色々その他苗木類

セボララの種は

梶田商店でお求め下さい

ツツケデカシマス五二四電話二九

木林 一元

四月句会おしらせ

日時 四月二日(日)午後八時

場所 コチア村 松下札居

兼題 唐辛・鳴子・蜻蛉

通じて八句

当夜七時に北原居の前から自動車が出ますから御利用下さい

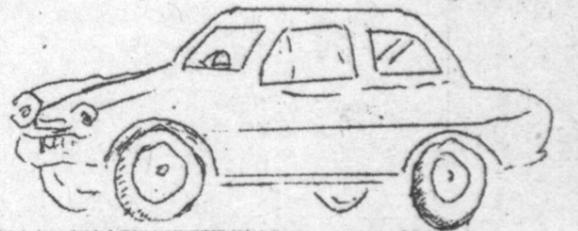
OFICINA AUTO ELETORO MECANICA DE BASTOS

Rua Adhemar de Barros 483 C. POST. 146

オフィシナ開業

自動車・電気・修理・発電機巻替
旋盤一切 溶接一切

どんな仕事でも確実に致しますから、御用命下さい



信太 共同経営

アデマール デバロス街四八三

岡村裁縫学校向側

郵便 一四六

寄稿

弓場バレエ団の演技を見て

思うこと

小 沢 勇

超満員の観衆に咳一っさせず睡目せしめた弓場バレエ団一驚させられました。弓場氏は「我がバレエ団は終日農園に鶏舎に汗を流してゆく娘達が夜毎一疲勞にうち克つて習得した、真に土から生れた芸術である」と述べられたが、あのバレエイノの中にも手を延べした時に指が反対にそらないのは土にゆく人の証拠である。日々農園の重労働を終え、夜毎の練習の結果、職業バレエ団に遜色のない至美に接し、実に感に耐えぬものがありました。弓場氏をはじめ、十二人の娘達を公演を終えて私の家に帰着したのは十二時半であつたが、彼女達は、下着類の洗濯や入浴等の為め寝に就いたのは三時前でありました。

朝私が寢室から出たのは七時でありました。が、彼女達は皆起きて、着類などの所用を整えつつ笑顔で挨拶をされた。その動作はキビキビとほがらかで、喜びに輝いて居て、昨夜の活動や今朝三時迄も寝ずに働いた疲労の影は見せません。記者の共鳴を得れば幸甚です。終り

弓場氏は「バストスの人達の心からなる温情に感謝し、特に今日の朝食に当り、婦人会の人から受けた愛情の発露に眼をうるませて、これが通り一遍の興行師でなく、三十年温情交流の賜である」と満腔の感謝の言葉を残して我家を後にポンペイアに向われた。

この乙女達がわずかの睡眠にもかかわらず、登刺として疲れを知らぬ有様を見るとき、人間は、やろうと思えば何でも出来る神の生命を裡に抱藏している生命体であること痛感させられました。

現在私の最も要望するところは、子弟の日本語普及により、最底限度日常会話に止まぬ者であります。このバレエ団を見て吾々父兄達があまりにも自己限定を發揮し、子弟の能力を過小評価し、其の能力に着くは人情の常であつても、それでは決して人々の勝利者となる事出来ない事例を数多く見聞する所である者の取る可き道ではありません。バレエ団の不屈の精進と努力による洗練された芸術に接し、子弟の日誌教育に対する吾人の態度を見る時、実に思い半ばに過ぎる日があり、私達の反省三思の必要を痛感し、敢て一文を草した所以であります。

目屎齒尿(勝ち負け物語) 廿四

糸音作

養蚕小屋焼打ち(二)

本田さんの転向は直ちにソグロ原田氏に及んだ。原田老は本田さんの隣の口ッアに住み、中々骨のある人物で、ことに時局にかけては強硬な勝組であった。同じ組員だから交際しているが、時局談になると煩雑だから相手にせぬことにしていた。

ところがある日その原田老が裏口の方から聲をかけて入って来た。恰どカッアの時局だつたので、どうですかカッアと聞いて、容を改めて、

「今日は、実はあんたにあやまり来たのだ。外でもないがこれまで勝ち負けにあって、あんたに悪言を吐いたりもしたことがあり誠にすまなかつた。」

時局の見解についてはあんたの言われる通りだ。どうか今までの私の無礼を御赦し願いたい。」

と四角張つて、メトザに両手をつき丁寧にお辞儀をした。私はいささか面喰つて、えらい効き目が早いなあ、とは思つた。

いや、日本人として祖国の勝利を信じ、このは当然の事です。しかし、たのみ、綱が切れた、という感しですな。

こんどの終戦くらい吾々の希望を粉碎した大きな失望はありません。お互いに論争している時期にはない、昔心を合せて祖国再建に協力せねばなりません。

原田老は暗然とした面持で「全くその通り、まるで胸が空洞になつたやうです」と、多くと云わず帰つていった。

養蚕小屋の焼打ちはその後もなく、変節報復の意味で行われたのであったが、あまりに気の毒だったので、私は組の人達、さびかけ、小屋の棟上げだけでも手伝つてあげようと相談した。

組の人達も時局は時局、小屋の建築は建築と割り切つて快く手伝に応じた。本田さんにこの旨を通じると、しばらくたためらつていたが、又考え直して、材料を集めてからお願ひすると言ひ、期日を約束した。

二週間ほどを過ぎ、建築が始まり、十人ばかりの組員が出掛けて予定通り棟上までを一日で終つてのけた。してその夜、司家でジマノタを御馳走になつて、

いる時、こういふ時の禁句が不用意の誰かの口から洩れた。

マリリア方面の養蚕小屋の焼打ちには

「ハッベ屋根だから二、三人で一夜つけられ、ばマツチ一本で忽ち火がまわる、……」など、話に火が付き、一体何だつてそんな馬鹿げた事をするんだらう、……と言つた時、原田老が「そりや勝つた組が腹癢にやつたんだ、……」

と言つてもその事に口をすべらせた。その時一人が「……」

「わしは勝ち組といわれているが、そうすると、本田さんの小屋へ火をつけたのは私ということになるのか」と聞き直るやうに云つた。

「いや、原田さんの云つたのは、さういう意味じゃない。一般論だ」と打ち消しにかかつたものもあつたが「わしが放火したやうに言われるのは心外だ」と喰ひさがる。

本田さんは、手伝いをしてくれた人たちの機嫌を損じては大変だと、

「それはおいちぢんの失言だ、詫びた方がいい」と言ひ、原田はしぶしぶ「わしの高い方がわるかつた」と釈明して、その場は小火ですんだが、胸に一物あれば相手の毒を銜いて鬱憤を晴らす位の馳引きは、その頃誰もが持つていたものだ。

けんか口論にでもならねばよいがと案じていたが、よい案配にその場は静かにおさまつたが、心中の暗闘といつた程のものはずすまじ濃くなり、対立的気分は濃厚となる一方であつた。

世間一般にさういふ傾向に向つていたやうである。

本田家の養蚕小屋は、その後あまり養蚕回数を重ねないうちに、いつのまにか鶏小屋にかわつたやうであつた。

これは養蚕が下火となつたためでもあろうが、これは代る業として養蚕がかわりにクワダツツされ、本田家もぼつぼつ鶏を飼いはじめたからである。

勝ち組から負け組に変節した報復手段として放火するなどということは、この国の法理にも触れ重罪に処せられるのを承知で敢然放火の拳に出たことは、勝ち組の人達の一部ではあろうが、いかに激勝意識が強烈であり、その行為が正当視される迄歪んでいたかが判る。

その後放火事件はなかつたが、その代りピストル事件がこれにとつて代り、満川産組専務の暗殺の皮切りとして血なまぐさい殺人事件が次々と起つたのである。

春 耕

A 文化革命 おさまつたようだがね
B 目下アランタ中でなかつた。米
がとれぬと、のたれ死にするから

